

## 入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の平成24年度第1回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

### 記

開催日時 平成24年5月24日(木) 14:00～16:00

会 場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

## 平成24年度 第1回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

### 1 会議名

平成24年度 第1回 北九州市入札等監視委員会

### 2 開催日時・会場

開催日時 平成24年5月24日(木) 14:00~16:00

会場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

### 3 出席委員

藤田 賢一郎、今泉 恵子、上地 和久、柿内 よし子、菊池 裕子

### 4 議事

#### (1) 委員長選出

委員長は、出席委員全員の同意により藤田委員に決定した。

#### (2) 委員長職務代理者の指名

藤田委員長が、委員長職務代理者として菊池委員を指名し、同委員に決定した。

#### (3) 平成23年度第4四半期の工事契約状況等の報告

次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について  
(問) 指名停止等の期間で、「当分の間」とはどのくらいの期間なのか。  
(答) 指名停止等になった原因が、現状回復するまでの期間である。

#### (4) 平成23年度第4四半期の工事契約抽出案件の審議

##### ア 抽出方法について

審議する案件は、平成23年度第4四半期に契約をした工事の中から、藤田委員が10件(契約室契約分10件(内2件は、水道局分))を抽出した。

##### イ 審議における質疑等

(問) 予定価格、最低制限価格は公表しているのか。

(答) 予定価格は事前公表、最低制限価格は事後公表としている。

(問) ランダム係数は工種によって毎回違うのか。

(答) 工種には関係なく、毎回案件ごとに契約管理システムから抽出している。

(問) 予定価格と最低制限価格を設定しているのはなぜか。

(答) 予定価格は、設計金額や市場価格を参考としてはじき出した契約する際の上限価格であり、最低制限価格は品質の確保のために設けた契約金

額の下限である。

(問) 最低制限価格より数十万円低い入札を行った業者が失格になり、その結果、予定価格付近で入札を行った業者が落札しているが、両業者の落札金額の差が大きいので違和感がある。

(答) 現在は優れた積算システムソフトがあり、落札しようとする業者は最低制限価格ギリギリの入札を行うため、ランダム係数によって落札結果が左右される面がある。ランダム係数を導入して日が浅いので、ランダム係数の導入状況について、他都市の動向を調査したい。

(問) 一般競争入札ではなく、なぜ指名競争入札を行うのか。

(答) 一般競争入札は契約まで日数がかかるため、本市では、一定の金額以下の場合、指名競争入札を行っている。

(問) ほとんどの業者が最低制限価格を下回り、やる気が無いと思われる1社だけが予定価格付近で落札した案件が見られるが、最低制限価格から10%以上の入札を行った業者は、失格にするなどの対策は考えられないのか。

(答) 予定価格が設定してあるので出来ない。また、予定価格が市場価格より極端に高いとは言えない。いずれにしろ、国や他都市の動向を注視し、バランスも考え研究していきたい。

(問) 最低制限価格を下げてみてはどうか。

(答) 国の制度に準じているので、現時点では無理である。また、業界からも最低制限価格を上げて欲しいとの要望がでてきているところである。

ランダム係数を含め、本市の最低制限価格制度について、他都市等の状況を調査したいと考えている。

#### (5) 会議の公開・非公開について

不開示情報(情報公開条例第7条)に該当する事項を審査する場合があるため、今後の会議は非公開とすることになった。

1 次回の工事の抽出は、柿内委員が担当することとなった。

2 次回の委員会は、平成24年8月27日(月)に開催することとなった。